

第8課

<目標> 町、人、物などについて、簡単な感想が言えるようになる。

※形容詞（現在形のみ）を学ぶ課。

<練習 A の文型>

1. この町は きれい/おもしろい です。

[N] は [ナ形容詞/イ形容詞] です。

[N] は どうですか。

※叙述用法の肯定文

※練習 B5 の文型（「[N] は どうですか。」に対する答え方）

「～です。そして、～です。」（例文 5）

「～ですが、～です。」（例文 4）

2. きれいじゃありません。

たかくないです。

[N] は [ナ形] じゃありません。

[N] は [イ形 (～~~い~~)] くないです。

※叙述用法の否定文

※いいです→よかったです・よくなかったです

3. 奈良は ゆうめいな 町です。

ふるい

[N] は [ナ形 (～な) /イ形 (～い) +N] です。

[N] は どんな [N] ですか。

※修飾用法の肯定文

修飾用法の否定はやらない

<ノート>

◎形容詞の現在形のみを扱う。過去形は 12 課で扱う。

◎活用の仕方

*イ形容詞

	肯定	否定
現在	おいしいです	おいしくないです
過去	おいしかったです	おいしくなかったです

*ナ形容詞

	肯定	否定
現在	有名です	有名じゃありません
過去	有名でした	有名じゃありませんでした

※例外 「いいです」（練習 A2）

活用：いいです、よくないです、よかったです、よくなかったです

◎学習者がよく間違える形容詞

・「きれい」「ゆうめい」

・「古い」=old?

・「寒い」（例文 3）と「冷たい」（練習 B8）

・「暑い」（練習 B1-4、問題 4）と「熱い」（練習 B3-3）

※日本語では、体全体で感じる温度と、体の一部分で感じる温度とを使い分ける。

体全体で感じる温度	寒い	暑い	暖かい	涼しい
体の一部分で感じる温度	冷たい	熱い	温かい	？

・日本人の間違い例について

・反対語の難しさ

◎新出語彙

例文3:「とても」

「あまり～くないです」

<会話> 「そろそろ失礼します」

- ・訪問した後の別れの言い方を学ぶ。
- ・「そうですね。」
- ・「いいえ、けっこうです。」
- ・「そろそろ失礼します。」
- ・「またいらっしゃってください。」

第9課<目標>好き嫌い、上手下手などの表現が使える。簡単な理由が言える。※「～は～が～です。」「から」(理由)が出てくる課。

<練習Aの文型>

1. わたしは えいがが 好きです。

[人]は [N]が 好き/嫌いです。

※形容詞述語文

※格助詞「が」

2. わたしは サッカーが 上手です。

[人]は [N]が 上手/下手です。

※形容詞述語文

※格助詞「が」

3. わたしは ひらがなが わかります。

[人]は [N]が わかります。/ わかりません。

※動詞述語文

※格助詞「が」

4. わたしは おかね が あります。

やくそく

[人]は [N]が あります。/ ありません。

※動詞述語文

※格助詞「が」

5. いそがしいです から、テレビを 見ません。

どうして～か。 … ～から。
～から～。

※接続助詞「から」

※相手の誘いを断るときに使える表現 (練習 C3、会話)

<ノート>

◎「XはYがZ。」の構文

- ・対象を表す格助詞の「が」が初めて出てくる
練習 A1-3 の「が」→対象を表す
練習 A5 の「が」→主語を表す

・「XはYが(対象)Z。」の構文をとるもの
形容詞

- ▼ 好きです(P.74)/嫌いです(P.78)
- ▼ 上手です(P.74)/下手です(P.81, 問題 6-6)
- ▼ 得意です/苦手です
- ▼ ほしいです(13 課)

動詞

- ▼ わかります(P.74)
- ▼ できます(18 課)
- ▼ 要ります(20 課)

・対象を表す「が」と「を」の違い

「が」: 可能(能力)、希望、好き嫌い、上手下手、感情、感覚など
の対象を示す

「を」: 動作が及ぶ対象を示す

◎理由の「から」

- ・初めて複文が出てくる
- ・この課では、です/ます+から
「誕生日だから」「用事があるから」→この言い方は、20 課～

◎程度を表す副詞(練習 B4)

「よく」「だいたい」「すこし」 わかります
「あまり」「ぜんぜん」 わかりません

<会話>「残念ですが」

- ・誘いを断る表現
- ・「いかがですか。」
- ・「ちょっと…。」
- ・「だめですか。」
- ・「残念です(が)」
- ・「また今度お願いします。」

第 10 課

<目標>物や人の存在や所在について話せる。

※主語の「が」、位置を表す言葉が出てくる。

<練習 A の文型>

1. あそこに でんわが あります。

[場所] に [N] が あります。
[場所] に なにが ありますか。

※存在文
※格助詞「が」

2. あそこに やまださんが います。

[場所] に [人] が います。
[場所] に だれが いますか。

※存在文
※格助詞「が」

3. スーパーの となりに 喫茶店が あります。
佐藤さん

[N/人] の [位置] に [N] が あります。

※存在文
※位置：となり、なか、まえ、みぎ

4. ミラーさんの ちは おおさかに あります。

[N] は [場所] に あります。
[N] は どこに ありますか。

※所在文
※副助詞「は」：主題を表す

5. ミラーさんは あそこに います。

[人] は [場所] に います。
[人] は どこに いますか。

※所在文
※副助詞「は」：主題を表す

<練習 A 以外の文型>

・「[N] や [N] (など)」
「古い手紙や写真 (など) があります。」(例文 4)

・「[疑問詞] + も～ません。」
「だれもいません。」(例文 3)
「何もありません。」(P.89 問題 6-4)

<ノート>

◎場所を表す名詞とともに使う助詞

「に」：人や物が存在する場所

「で」：行為が行われる場所

◎「います」と「あります」の違いとは？

「います」：

「あります」：

考えてみましょう！

①山田さんがいる。

机の上に本がある。

②動物園にパンダがいる。

庭に松の木がある。

③プラットフォームに電車がいる。

駅前にタクシーがいる。

④ねえ、見て。たくさん写真があるの。(人物の写真でも)

美術館へ行くと、たくさんの絵がある。(人物画でも)

⑤東京ディズニーランドへ行くと、ミッキーマウスがいるよ。

12月になると、トイザラスにはサンタさんがいます。

⑥KFCの前には、サンダーズおじさんがいます。

⑦ロンドンのマダムタッソー蠟人形館には、クリントン大統領がいます。

⑧日本の近海には、サバやアジがいる。(海の中)

魚屋に行ったら、いいアジがあったから、買って来た。(商品)

⑨人形は？ぬいぐるみは？います？あります？

◎存在文と所在文

・存在文「[場所]に[人・物]がいます/あります。」
→ある場所に人や物が存在していることを述べる文

・所在文「[人・物]は[場所]にいます/あります。」
→ある人や物がどこに存在するのかを述べる文

◎新出語彙「いろいろな」(練習B2-4)

◎「あそこに男の人がいますね。」(例文2) ※終助詞「ね」

◎「庭にだれがいますか。」(例文3)

～「だれが」と「だれか」～

<会話>「ナンプラー、ありますか」

・道を尋ねたり、買い物をしたりする。

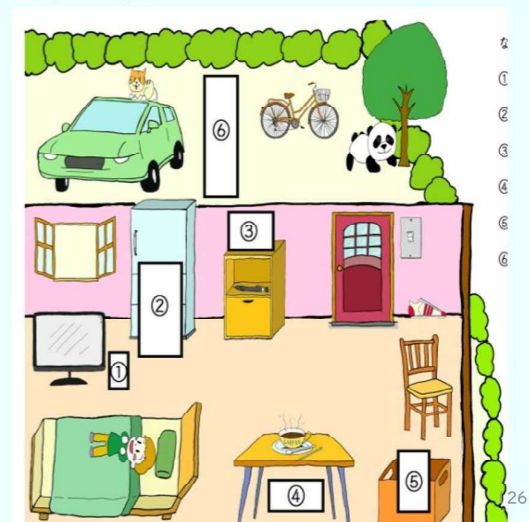
・「どうもすみません。」「いちばん下です。」

インフォメーション・ギャップを使った活動の例
みん日第10課:「います/あります」

カードA



カードB



第11課

<目標>頻度、数量、人数、時間、期間が言えるようになる。

※数詞について学ぶ課。

<練習Aの文型>

1. みかんが いくつか あります。

[N] が [数詞 (ひとつ~とお)] あります。

[N] が いくつ ありますか。

※数詞=数字+助数詞

※和語(大和言葉)の数え方

(ひ、ふ、み、よ、いつ、む、なな、や、ここ、とお)

2. 80円の切符を1枚買いました。

[N] を [数詞 (~枚/~台)] [V] ます。

[N] を なんまい/なんだい [V] ますか。

※漢語の数え方

(いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、く、じゅう)

3. このクラスに留学生がひとりいます。

[場所] に [N] が [数詞 (ひとり...)] います。

[場所] に [N] が なんにん いますか。

※人の数え方

※新出語彙「います」(子供が/兄弟が/友達が)

4. 1しゅうかんに 1かい 映画を 見ます。
かげつ 5かいぐらい
ねん

[期間] に [数詞 (~回)] [V] ます。

[期間] に なんかい/なんかいぐらい [V] ますか。

※頻度

5. 国で5しゅうかん 日本語を 勉強しました。

[期間] [V] ます。

どのくらい [V] ますか。

※期間

※新出語彙「(日本に) います」

6. わたしの国から日本まで飛行機で4じかん かかります。

[場所] から [場所] まで [時間/期間] かかります。

[場所] から [場所] まで どのくらい かかりますか。

※ある場所までの所要時間

※「かかります」

<ノート>

◎数詞(数字+助数詞)

・この課では、「~つ」「~人」「~枚」「~台」「~回」が出てくる
「~枚」、「~台」は、数字によって読み方が変わらない

・「～本」／音が変化する助数詞（この課ではやらないけど）

	「本」の読み方	本	杯	分
1	いっぽん	P	P	P
2	にほん	H	H	F
3	さんぼん	B	B	P
4	よんほん	H	H	P/F
5	ごほん	H	H	F
6	ろっぽん	P	P	P
7	ななほん	H	H	F
8	はちほん／はっぽん	H / P	H / P	F / P
9	きゅうほん	H	H	F
10	じゅうぽん	P	P	P
何	なんぼん	B	B	P

- ・整理すると、
 「 P（半濁音）… 1, 6, 8, 10
 「 B（濁音）…… 3, 何

◎新出語彙

- ・「だけ」
 「3 か月だけですか。」（例文 6）
 ※「しか+否定」→27 課
- ・「全部で」
 「全部で 500 円です。」（例文 2）

<会話> 「これ、お願いします」

- ・郵便局で荷物を出す。
- ・「いい（お）天気ですね。」
- ・「お出かけですか。」
- ・「ちょっと [場所] まで。」

第 12 課

<目標> 過去の出来事について簡単な感想が言える。身近なことについて簡単な比較ができる。

※名詞述語文と形容詞述語文の過去形、形容詞の比較級と最上級を学ぶ課。

<練習 A の文型>

1. 京都は ゆきでした。

[N] は [N/ナ形] でした。
 [N] は [イ形容詞 (～~~た~~)] かったです。
 [N] は どうでしたか。

※名詞述語文、形容詞述語文の過去形

2. やすみじゃ ありませんでした。

[N/ナ形] じゃ ありませんでした。
 [イ形容詞 (～~~た~~)] くなかったです。

※いいです→よかったです・よくなかったです
 ※名詞述語文、形容詞述語文の過去否定

3. とうきょうは おおさかより おおきいです。

[N] は [N] より [形容詞] です。

※形容詞の比較級

4. サッカーと やきゅうと どちらが おもしろいですか。
…サッカーの ほうが おもしろいです。

[N] と [N] と どちらが [形容詞] ですか。
… [N] の ほうが [形容詞] です。

※形容詞の選択疑問文と答え方

※どちらも [形容詞] です。(例文6)

※練習 C2:「熱いのと 冷たいのと どちらが いいですか。」

⇒名詞の代わりに「の」(準体助詞)

5. スポーツで なにが いちばん おもしろいですか。

[N] で [疑問詞] が いちばん [形容詞] ですか。
… [N] が いちばん [形容詞] です。

※疑問詞: なに、だれ、どこ、いつ

※形容詞の最上級

<ノート>

◎形容詞の比較級

[N] は [N] より [形容詞] です。

※肯定文のみ

※比較級の否定文 (この課ではやらない)

「XはYほど～ない」(『中級へ行こう』第4課)

例)「大阪は東京ほど大きくないです。」

◎よくある誤用例

「すしと 天ぷらと どちらが いちばん 好きですか。」

「すしの ほうが いちばん 好きです。」

◎新出語彙「多い」と「少ない」→特殊な形容詞

普通の形容詞は「この町は 大きいです。」「大きい町です。」と両方
言えるが…

叙述用法: (○)「東京は 人が 多いです。」
(○)「この道は、車が 少ないです。」

修飾用法: (×)「東京は 多い人が 住んでいます。」
(×)「この道は、少ない車が 通ります。」

<会話>「祇園祭はどうでしたか」

・帰宅の挨拶、簡単な報告ができる

・「ただいま。」「お帰りなさい。」

・「すごい人ですね。」 ※「すごい」(21課)

・「ちょっと疲れました。」 ※「疲れます」(13課)

第13課

<目標> 欲しいもの、したいこと、どこかへ行く目的について 話せる。

<練習 A の文型>

1. わたしは くるま が 欲しいです。

わたしは [N] が 欲しいです。

※格助詞「が」

※物の欲求

※「欲しい」(感情形容詞) → 話者の欲求、感情

2. わたしは カメラ を (が) か いたいです。
 家族 に あ いたいです。

わたしは [V] たいです。
なにを したいですか。

※格助詞「を」「が」

※助動詞「たい」

※行為の欲求

※質問文の助詞

3. いき たいです → いき たくないです

※「～たいです」の否定形

※作り方は、イ形容詞と同じ

例) おもしろいです → おもしろくないです

4. わたしは 京都 へ あそび に 行きます。 ※自動詞
 日本料理 を 食 べに ※他動詞
 買 い物に ※名詞

わたしは [場所] へ [V (～ます)] に 行きます。

わたしは [場所] へ [N] に 行きます。
(「スル動詞」になる名詞)

[場所] へ なにを しに 行きますか。

※格助詞「に」: 移動の目的

※「スル動詞」→「名詞+します」(3グループ)

新出語彙に出てくる「スル動詞」: 結婚します、買い物します、
食事します、散歩します

<練習 A 以外の文型>

・「わたしは [場所] へ [N] に 来ます。」
「美術の勉強に来ました。」(例文 5)

「美術の勉強に来ました。」 → 「美術を勉強しに来ました」(○)
→ 「美術を勉強に来ました。」(×)

※質問の仕方によって助詞が変わる

[場所] へ 何の [N] に 来ましたか。

[場所] へ 何を しに 来ましたか。

・「どこか [V] ますか。」 「何か [V] ますか。」
「冬休みは どこか 行きましたか。」(例文 6)

「何か 飲みたいですね。」(練習 C 2)

※新出語彙「どこか」「何か」

「だれか」(31課)、「いつか」(27課)

会話例)

A:「冬休み、どこか 行きましたか？」
 B:「はい、行きました。」
 A:「どこへ行きましたか？」
 B:「京都へ行きました。Aさん、どこか行きましたか？」
 A:「いいえ、どこも行きませんでした。家にいました。」

・「何もしたくないです。」(例文3)

<ノート>

◎「ほしい」(感情形容詞)

感情形容詞：感情、感覚などを表す 例) 楽しい、悲しい、さびしい

・人称制限がある：1人称のみOK。3人称は「～がる」の形になる。

例) 1人称：わたしは 嬉しい。⇒○
 3人称：トムは 嬉しい。 ⇒×
 トムは _____。⇒○
 2人称：あなたは 嬉しい。 ⇒×



・「Vたいです」も「ほしいです」同様、人称制限がある。

例) 1人称：わたしは ハワイへ 行きたい。⇒○
 3人称：トムは ハワイへ 行きたい。 ⇒×
 トムは ハワイへ _____。⇒○
 2人称：あなたは ハワイへ 行きたい。⇒×

※ [N] をほしがる、[V (～ます)] たがる→『中級へ行こう』第3課

◎どう違う? 「Vに行きます」と「Vて来ます」

・「Vに行きます」

例) 習いに行きます、買いに行きます

・「Vて来ます」(「Vて来る」は43課)

例) 買って来ます、見て来ます

◎新出語彙

・「おなかがすきました」(練習C2)
 ※「おなかがいっぱいです。」(20課)

・「公園を 散歩します。」 ※助詞に注意

<会話> 「別々にお願いします」

・レストランでの注文ができるようになる。

・「ご注文は？」

・「少々お待ちください。」

・「別々にお願いします。」

・「わたしはてんぷら定食。」→うなぎ文

※うなぎ文：述語を省略した文

例) わたしは うなぎ。

田中さんは 会議室。